

日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券／インデックス型

交付運用報告書

第103期（決算日2014年12月16日） 第104期（決算日2015年1月16日） 第105期（決算日2015年2月16日）
第106期（決算日2015年3月16日） 第107期（決算日2015年4月16日） 第108期（決算日2015年5月18日）

作成対象期間（2014年11月18日～2015年5月18日）

第108期末（2015年5月18日）	
基準価額	9,749円
純資産総額	97,748百万円
第103期～第108期	
騰落率	0.8%
分配金（税込み）合計	150円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）」は、2015年5月18日に第108期の決算を行ないました。

当ファンドは、先進国債券および新興国債券に実質的な投資を行ない、先進国債券指数と新興国債券指数を合成した指数の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

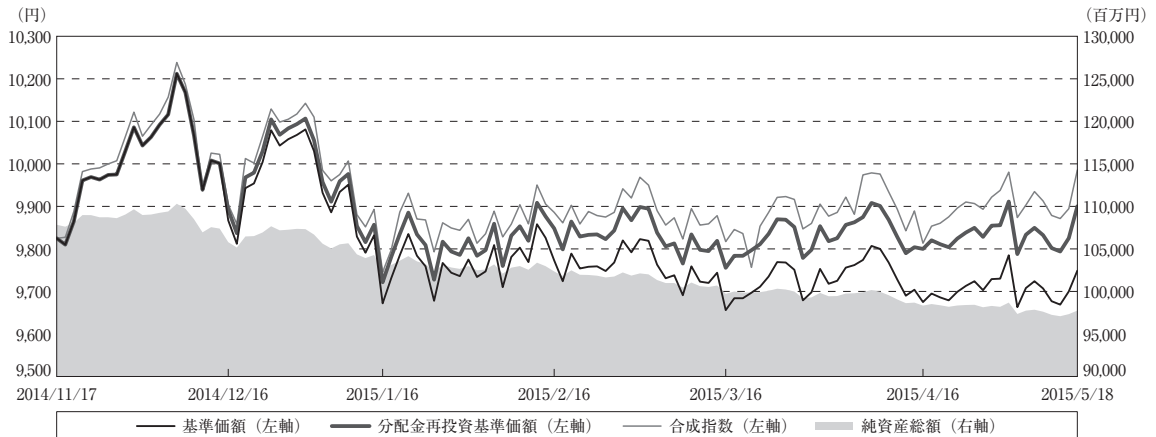
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2014年11月18日～2015年5月18日）



第103期首：9,825円

第108期末：9,749円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：0.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および合成指数は、作成期首（2014年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークは、合成指数です。

○基準価額の推移

第103期首9,825円の基準価額は、第108期末に9,749円（分配後）となり、分配金を加味した騰落率は+0.8%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、先進国債券および新興国債券に実質的な投資を行ない、先進国債券指数「シティ世界国債インデックス（除く日本／円ヘッジなし・円ベース）」80%と新興国債券指数「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジなし・円ベース）」20%を合成した指数の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

以下の要因による「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値上がり。

- ・欧州などの中央銀行による金融緩和姿勢の相つぐ強化を背景に、各国の国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・ギリシャの信用懸念の再燃や原油価格の大幅な下落などを懸念した投資家による国債など安全資産への逃避需要が強まったこと。
- ・米国における早期の利上げ観測などを背景に、円安／アメリカドル高が進行したこと。

以下の要因による「海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値上がり。

- ・米国の低金利政策の継続や市場予想を上回る内容の経済指標の発表を受け、米国経済の回復への信頼感が高まったこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）による大規模な量的金融緩和策の導入を決定したこと。
- ・原油の価格が回復傾向となったこと（2015年3月後半～期間末）。

<値下がり要因>

以下の要因による「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値下がり。

- ・米国の市場予想を上回る内容の雇用統計の発表などを受けた米国連邦準備制度理事会（FRB）による早期の利上げ開始観測が強まったこと。
- ・欧州におけるインフレ懸念の強まりなどから、各国の国債利回りが総じて大幅に上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・ECBによる量的金融緩和の実施の決定などを背景に、円高／ユーロ安が進行したこと。

以下の要因による「海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値下がり。

- ・中東やウクライナの情勢緊迫化などを受けて投資家によるリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・米国における市場予想を上回る内容の経済指標の発表などを受けて米国連邦準備制度理事会（FRB）による利上げの実施観測が強まったこと。
- ・原油価格の下落を受けて、産油国経済への懸念が高まったこと。

1万口当たりの費用明細

（2014年11月18日～2015年5月18日）

項 目	第103期～第108期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 53	% 0.539	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(24)	(0.245)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(26)	(0.267)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.016	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(0)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、外貨に係る税金
合 計	55	0.555	
作成期間の平均基準価額は、9,860円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

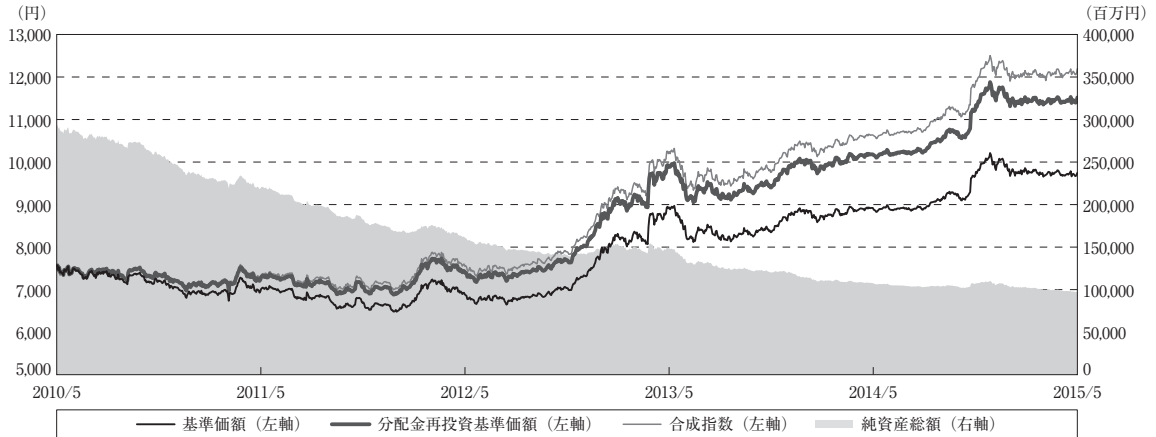
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年5月17日～2015年5月18日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および合成指数は、2010年5月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年5月17日 決算日	2011年5月16日 決算日	2012年5月16日 決算日	2013年5月16日 決算日	2014年5月16日 決算日	2015年5月18日 決算日
基準価額 (円)	7,554	6,928	6,870	8,888	8,879	9,749
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	280	240	240	245	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.6	2.7	33.6	2.8	13.3
合成指数騰落率 (%)	—	△ 3.5	3.8	34.8	4.1	14.8
純資産総額 (百万円)	292,679	218,060	160,561	147,572	107,049	97,748

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ベンチマークは、合成指数です。

投資環境

（2014年11月18日～2015年5月18日）

（先進国債券市況）

米国、英国、ドイツ、イタリア、スペインなどの10年国債利回りは、総じて低下しました。期間の初めから2015年1月にかけては、ECBによる量的金融緩和策の導入観測や、ギリシャの信用懸念の再燃や原油価格の大幅な下落などを受けた投資家による国債など安全資産への逃避需要などから、各国の国債利回りは総じて大幅に低下しました。2月から4月中旬にかけては、米国の市場予想を上回る内容の雇用統計の発表や、イングランド銀行（BOE）による英国のインフレ見通しの引き上げの発表などを受けて、米国や英国の国債利回りが上昇した一方で、ECBによる国債購入を含めた量的金融緩和策の実施の決定などを背景に、ユーロ圏の国債利回りは総じて低下しました。4月下旬から期間末にかけては、欧州におけるインフレ懸念の強まりなどから、英国やユーロ圏の国債利回りが総じて大幅に上昇し、米国の国債利回りも上昇しました。

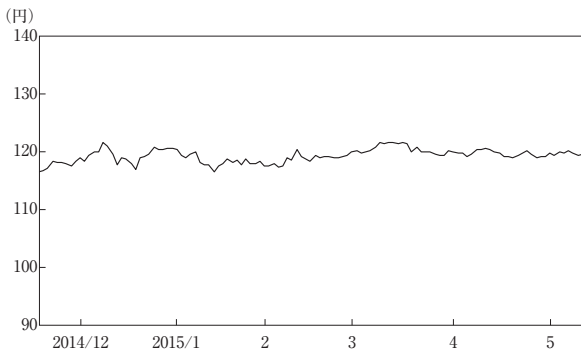
（新興国債券市況）

新興国市場では、期間の初めから2014年12月前半にかけては、米国における市場予想を上回る内容の経済指標の発表などを受けたFRBによる利上げの実施観測の強まりや、原油価格の急落を受けた産油国経済への懸念の高まりなどを背景に、債券指数は大きく下落しました。12月後半から2015年2月にかけては、ECBが大規模な量的金融緩和策の導入を決定したことなどを支援材料に、債券指数は上昇しました。3月前半は、米国における利上げ観測の強まりを背景に新興国債券に対する投資需要の後退が懸念されたことや、欧州において政情不安が強まったことなどを背景に、債券指数は下落しました。3月後半から期間末にかけては、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の声明などを受けて早期の利上げ開始観測が後退したことや、原油価格の回復傾向を受けて産油国などにおける債券価格が上昇したことなどを背景に、債券指数は上昇基調となりました。

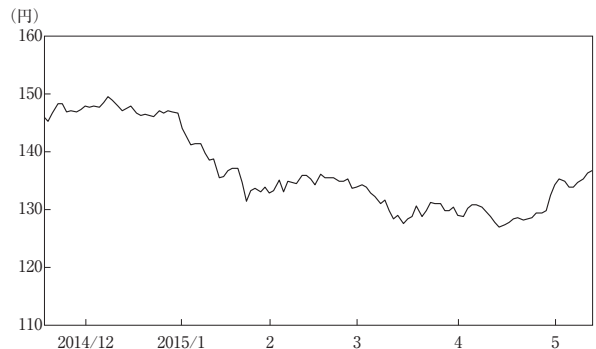
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2014年11月18日～2015年5月18日）

（当ファンド）

当ファンドは、信託財産の純資産総額の80%程度を「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券、20%程度を「海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資し、運用を行ないました。

（海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド）

債券のリスクコントロールモデルによりベンチマークが採用している国の債券の中からポートフォリオを構築し、運用を行ないました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、ポートフォリオの見直しを行なうとともに、債券の組入比率を高位に維持することで、ベンチマークとの連動性を保つよう努めました。

（海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド）

債券のリスクコントロールモデルを使用して、ベンチマーク採用国の銘柄でポートフォリオを構築しました。また、毎月ポートフォリオの見直しを行なうとともに、債券の組入比率を高位に維持することで、ベンチマークとの連動性を保つよう努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年11月18日～2015年5月18日）

期間中における基準価額は、0.8%の値上がりとなり、ベンチマークである「合成指数」の上昇率1.6%を0.9%下回ることとなりました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

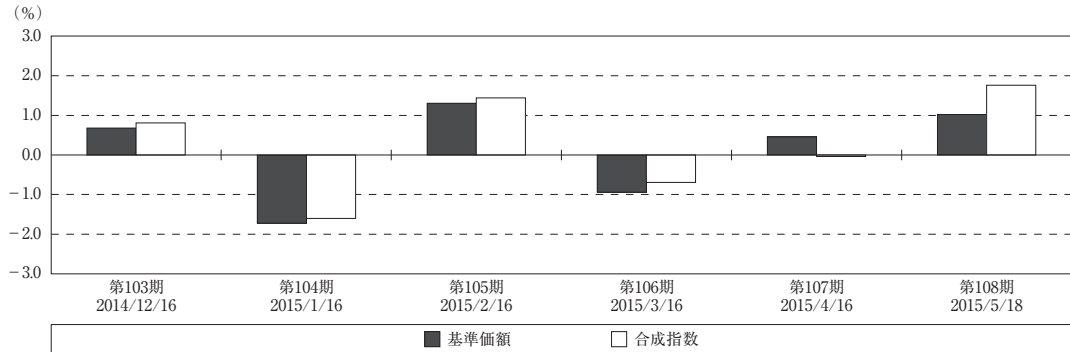
<プラス要因>

- ・投資先における通貨の選択による効果。

<マイナス要因>

- ・ファンドとベンチマークの為替換算の方法の違いによる誤差。
- ・投資先における投資国の選択による影響。
- ・投資先における銘柄の選択による影響。
- ・投資先における債券および為替取引に関する諸費用。
- ・信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークは、合成指数です。

分配金

（2014年11月18日～2015年5月18日）

第103期～第108期における分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項 目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2014年11月18日 ～2014年12月16日	2014年12月17日 ～2015年1月16日	2015年1月17日 ～2015年2月16日	2015年2月17日 ～2015年3月16日	2015年3月17日 ～2015年4月16日	2015年4月17日 ～2015年5月18日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.253%	0.258%	0.255%	0.258%	0.258%	0.256%
当期の収益	25	24	25	21	25	25
当期の収益以外	—	—	—	3	—	—
翌期繰越分配対象額	507	506	511	508	510	516

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、原則として信託財産の純資産総額の80%程度を「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券、20%程度を「海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「シティ世界国債インデックス（除く日本／円ヘッジなし・円ベース）」と「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジなし・円ベース）」をそれぞれ80%と20%の配合で合成した指数に連動する投資成果をめざします。

（海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド）

引き続き、これまでの運用方針を継続します。原則として債券のリスクコントロールモデルを使用してポートフォリオを構築し、ポートフォリオの金利感応度などの属性をベンチマークである「シティ世界国債インデックス（除く日本／円ヘッジなし・円ベース）」と同程度に保ち、連動性を高めるように努めます。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、ポートフォリオの見直しなどを行なうとともに、債券組入比率を高位に維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド）

引き続き、これまでの運用方針を継続します。原則として債券のリスクコントロールモデルを使用してポートフォリオを構築し、ベンチマークである「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジなし・円ベース）」との連動性を高めるように努めます。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、ポートフォリオの見直しなどを行なうとともに、債券組入比率を高位に維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2014年11月18日から2015年5月18日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

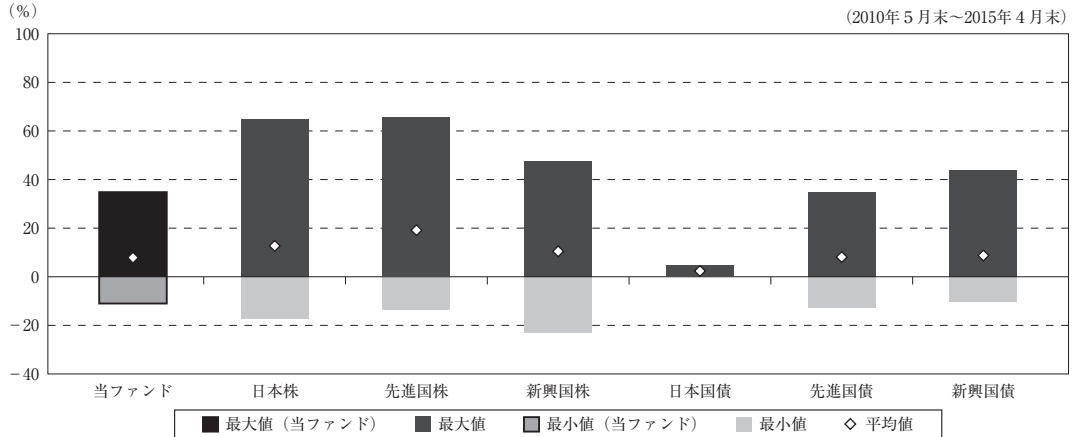
当ファンドについて、2013年6月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月1日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月1日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。（第31条の2、第58条の2）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	2006年6月12日から原則無期限です。	
運用方針	主として「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券および「海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「シティ世界国債インデックス（除く日本／円ヘッジなし・円ベース）」と「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジなし・円ベース）」をそれぞれ80%と20%の配分で合成した指数に連動する投資成果をめざします。	
主要投資対象	日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）	「海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券および「海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	内外の公社債を主要投資対象とします。
	海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	先進国債券の運用は、主として日本を除く先進国の債券に投資し、シティ世界国債インデックス（除く日本／円ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果をめざします。新興国債券の運用は、主として新興国の債券に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果をめざします。	
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、基準価額水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託者が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.8	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△10.9	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	7.8	12.8	19.1	10.5	2.4	8.2	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年5月から2015年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA - ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年5月18日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第108期末
	%
海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	80.2
海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド	19.8
組入銘柄数	2銘柄

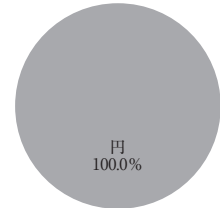
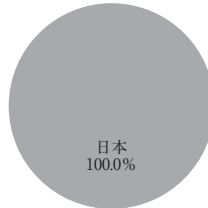
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

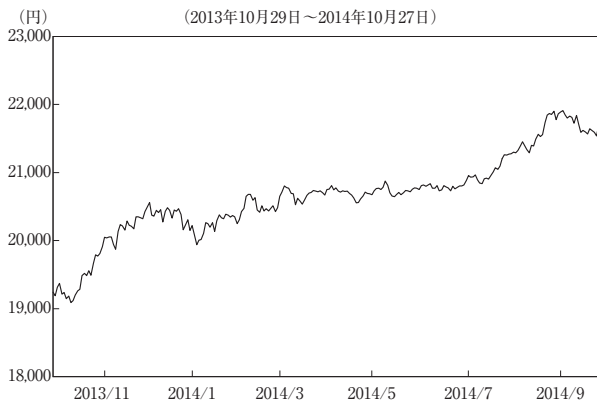
項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2014年12月16日	2015年1月16日	2015年2月16日	2015年3月16日	2015年4月16日	2015年5月18日
純資産総額	105,791,860,804円	102,507,722,792円	102,350,729,908円	99,722,078,592円	98,334,345,626円	97,748,488,758円
受益権総口数	107,220,722,587口	105,989,138,928口	104,730,591,146口	103,274,973,158口	101,639,845,109口	100,263,622,920口
1万円当たり基準価額	9,867円	9,672円	9,773円	9,656円	9,675円	9,749円

(注) 当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は669,654,277円、同解約元本額は10,160,457,677円です。

組入上位ファンドの概要

海外債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2013年10月29日～2014年10月27日)

項目	当期
(a) 保管費用等	円 3
合計	3

(注) (a) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2014年10月27日現在)

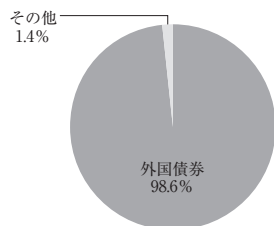
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	1.0
2	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	1.0
3	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.9
4	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.9
5	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.9
6	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.9
7	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.8
8	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.7
9	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.7
10	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	0.7
	組入銘柄数			545銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

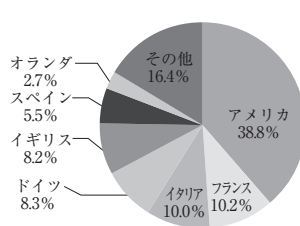
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

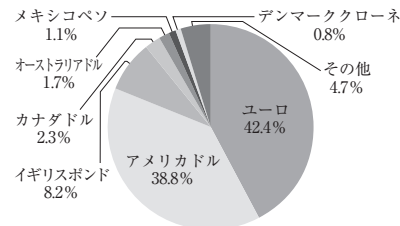
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



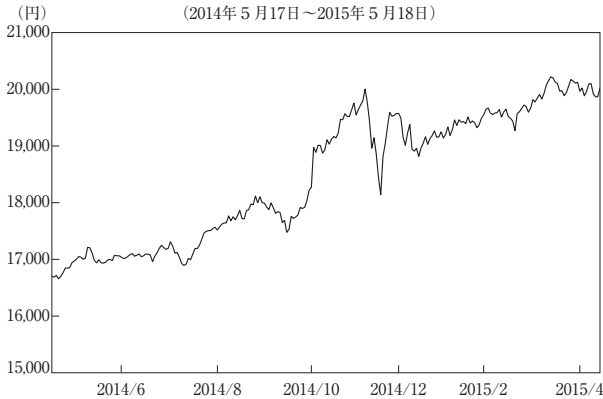
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

海外新興国債券インデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年5月17日～2015年5月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	8円 (8)	0.044% (0.044)
合計	8	0.044

期中の平均基準価額は、18,575円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、3ページをご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年5月18日現在)

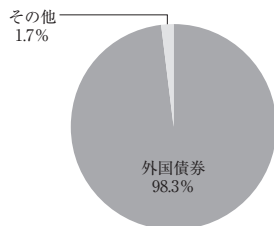
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	RUSSIA FOREIGN BOND	国債証券	アメリカドル	ロシア	4.9
2	UNITED MEXICAN STATES	国債証券	アメリカドル	メキシコ	1.5
3	UNITED MEXICAN STATES	国債証券	アメリカドル	メキシコ	1.3
4	RUSSIA FOREIGN BOND	国債証券	アメリカドル	ロシア	1.3
5	RUSSIA FOREIGN BOND	国債証券	アメリカドル	ロシア	1.2
6	RUSSIA FOREIGN BOND	国債証券	アメリカドル	ロシア	1.2
7	RUSSIAN FEDERATION	国債証券	アメリカドル	ロシア	1.2
8	REPUBLIC OF TURKEY	国債証券	アメリカドル	トルコ	1.1
9	REPUBLIC OF PERU	国債証券	アメリカドル	ペルー	1.1
10	REPUBLIC OF HUNGARY	国債証券	アメリカドル	ハンガリー	1.1
	組入銘柄数			146銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

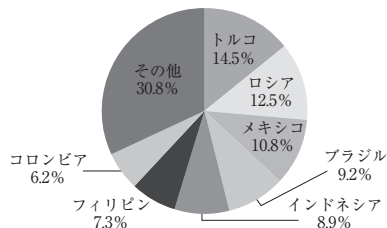
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

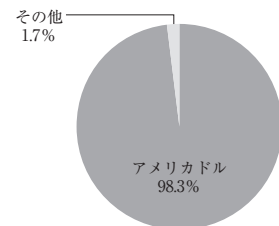
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数（TOPIX、配当込）

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

当指数は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン GBI – EM グローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。